

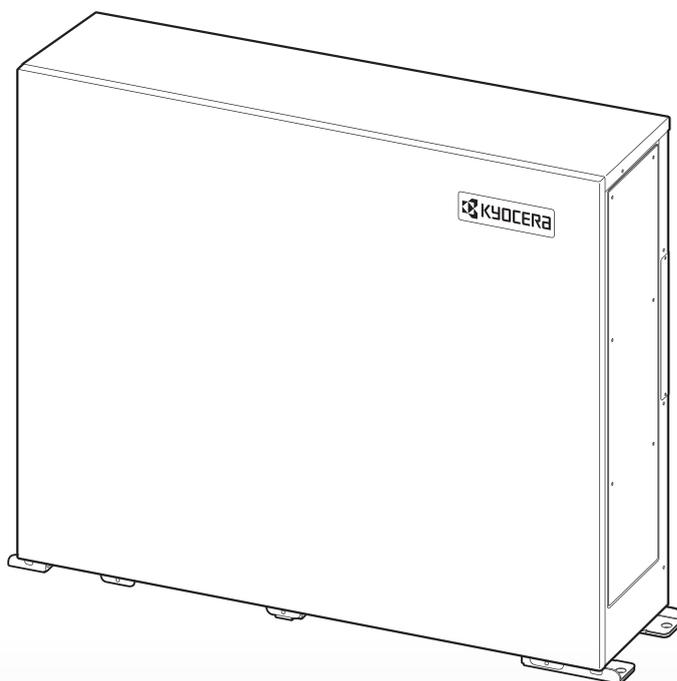
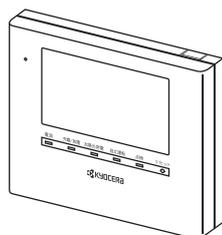


住宅用ソーラー&蓄電システム

マルチDCリンク蓄電システム

取扱説明書

EGS-ML0721



このたびは、京セラマルチDCリンク蓄電システムEGS-ML0721および室内リモコンEGS-RM03Mをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただいたうえで、正しくお使いください。
また、この取扱説明書を保証書とともに大切に保管してください。

目次

はじめに

安全のために必ずお守りください.....	3
取扱上のお願ひ.....	5
もしもの「安心」、いつもの「節約」.....	6
特長.....	9

使い方

室内リモコン各部の名前とはたらき.....	10
室内リモコンの本体について.....	10
室内リモコンの表示について.....	11
通常時の使い方（連系運転）.....	13
充放電を一時的に止めたい場合.....	13
停電時の使い方（自立運転）.....	14
停電時の家電製品の利用について.....	14
復電時の操作.....	15
グラフを表示する.....	16
発電量を確認する.....	17
お知らせを確認する.....	18
登録情報を確認する.....	19

設定

運転モードを選ぶ.....	20
非常時（停電時）の設定をする.....	22
非常時運転モードについて.....	23
タッチパネルや操作音の設定を変更する.....	24
ネットワークの設定について.....	25
ネットワーク設定画面に入ってしまった場合.....	25
日時の設定.....	26

点検とアフターサービス

こんなときは.....	27
ブザーが鳴ったとき.....	27
機器から発生する音について.....	27
アンペアブレーカが頻繁に落ちる場合.....	27
アンペアブレーカの容量を変更する場合.....	27
蓄電システムが停止した（停止させる）場合.....	27
特定コンセントのみ停電になる場合.....	27
エラーメッセージが表示されたとき.....	28
エラーメッセージの内容と処置.....	28
温度による動作について.....	29
室内リモコンのリセット.....	30
蓄電池のメンテナンスモードについて.....	31
メンテナンスモードが長時間継続し、終わらない場合.....	31
遠隔出力制御について.....	32
点検とお手入れ.....	33
フィルタの清掃.....	33
風水害または地震時の対応.....	33
補助金に関するご注意.....	34
保証とアフターサービス.....	35
保証について.....	35
アフターサービスについて.....	35
仕様.....	36
外形寸法.....	38
本体.....	38
リモコン.....	38
ソフトウェアライセンスについて.....	39

安全のために必ずお守りください

- ご使用前に、この「安全のために必ずお守りください」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 蓄電池の種類により取り扱い、異常時の対処が異なることがありますので、本装置に使用されている蓄電池の種類を確認してください。「仕様」(P.36 ページ)に記載されています。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ずお守りください。
- お読みになられた後も、ご利用される方がいつでも参照できるところに必ず保管してください。

ここに示した事項は、**警告** **注意**に区分しています。

 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が想定される事項。
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される事項。

絵表示については次のような意味があります。

	* 必ずアース線を接続 安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続して接地をとるよう指示する表示		* 感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告
	* 一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告		* 分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	* 一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示		

警告

<ul style="list-style-type: none"> ■ 取付工事・修理・移動・再設置・破棄はお買い上げの販売会社に依頼する <ul style="list-style-type: none"> ● 不備があった場合、感電や火災の恐れがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 分解・改造をしない <ul style="list-style-type: none"> ● 感電や傷害を負う恐れがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特定コンセントには、途中で電源が切れると困る家電製品は接続しない <ul style="list-style-type: none"> ● 夜間や曇りなどで発電電力または蓄電池の電力が不足すると装置は停止し、家電製品の電源が切れます。パソコンなどのデータが破損する恐れがあります。また、不安定な電源なので生命にかかわる機器には絶対に接続しないでください。 
<ul style="list-style-type: none"> ■ 特定コンセントに金属、紙、水などを差しこんだり、中にいれたりしない <ul style="list-style-type: none"> ● 火災・感電・故障の原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子供だけでは使わせない <ul style="list-style-type: none"> ● 感電・やけど・火災の恐れがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 特定コンセントには太陽光パワーコンディショナや外部発電機を接続しない <ul style="list-style-type: none"> ● 火災・感電・故障の原因となります。 

⚠ 警告

<p>■ カバーを開けない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 内部に電圧の高い部分があります。感電の原因となります。 <p style="text-align: center;"></p>	<p>■ 強い衝撃を与えない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 変形して短絡し、発熱・発火・破裂・火災の恐れがあります。 <p style="text-align: center;"></p>	<p>■ 上に乗ったり、座ったり、ぶらさがったり、物を載せない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 装置が変形・脱落し、けが・感電・故障の原因となります。 <p style="text-align: center;"></p>
<p>■ 可燃性ガスや引火物を近くに置かない (60cm 以内)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 電気部品のスパークで漏れたガスや引火物などに引火する恐れがあります。 <p style="text-align: center;"></p>	<p>■ 蓄電システムの上に物を置かない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 装置が変形・脱落し、けが・感電・故障の原因となります。 <p style="text-align: center;"></p>	<p>■ 吸排気孔などに物 (金属、紙、水など) を差しこんだり中に入れたりしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 火災・感電・故障の原因となります。 <p style="text-align: center;"></p>
<p>■ 煙が出ていたり、変なにおいがする場合は、すぐに屋内分電盤の蓄電システム用ブレーカとリモコン電源スイッチを「OFF」にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ● そのまま使用すると、火災の原因となります。販売会社にご連絡ください。 <p style="text-align: center;"></p>	<p>■ アース工事を行う (D 種接地工事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● アースが不完全な場合、感電の恐れがあります。アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。アース工事については必ずお買い上げの販売会社にご相談ください。 <p style="text-align: center;"></p>	<p>■ 近くで殺虫剤などの可燃性ガスを使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 引火し、やけど・火災の原因となることがあります。 <p style="text-align: center;"></p>

⚠ 注意

<p>■ 非常時設定では、負荷によって使用できないものがある</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ポンプやモーターなど起動時に大きな電力を必要とするものは使用しないでください。 <p style="text-align: center;"></p>	<p>■ 長期間「待機」に設定しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 蓄電池が充電されないため、使用できなくなる可能性があります。 <p style="text-align: center;"></p>	
--	---	--

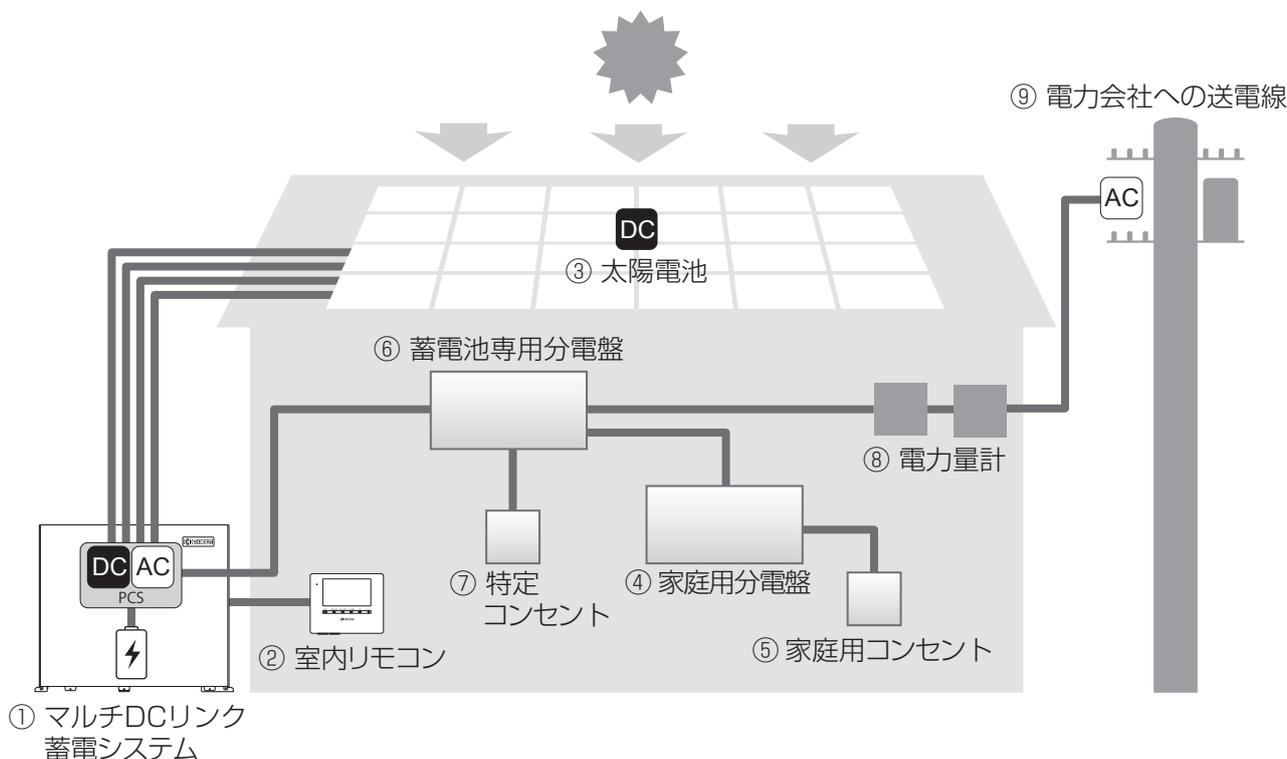
取扱上のお願ひ

<p>■ 次のような場所には取り付けない</p> <table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>蓄電システム</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 標高 1500m より高いところ <input type="checkbox"/> 直射日光が当たるところ <input type="checkbox"/> 重塩害地域 <input type="checkbox"/> 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ <input type="checkbox"/> 振動、衝撃の影響が大きいところ <input type="checkbox"/> 油蒸気、結露および氷結のあるところ <input type="checkbox"/> 浸水の恐れがあるところ <input type="checkbox"/> 電界の影響が大きいところ <input type="checkbox"/> 風通しが悪いところ <p>※ 次の温度範囲以外のところでは、動作を停止します 温度：-10℃～+40℃</p> </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>室内リモコン</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 温度変化が激しいところ <input type="checkbox"/> 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ <input type="checkbox"/> 振動、衝撃の影響が大きいところ <input type="checkbox"/> 水蒸気、油蒸気、雨水、結露、氷結のあるところ <input type="checkbox"/> 電界の影響が大きいところ <input type="checkbox"/> 直射日光が当たるところ <input type="checkbox"/> 次の温度範囲以外のところ 温度：0℃～+40℃ </td> </tr> </table>			<p>蓄電システム</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 標高 1500m より高いところ <input type="checkbox"/> 直射日光が当たるところ <input type="checkbox"/> 重塩害地域 <input type="checkbox"/> 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ <input type="checkbox"/> 振動、衝撃の影響が大きいところ <input type="checkbox"/> 油蒸気、結露および氷結のあるところ <input type="checkbox"/> 浸水の恐れがあるところ <input type="checkbox"/> 電界の影響が大きいところ <input type="checkbox"/> 風通しが悪いところ <p>※ 次の温度範囲以外のところでは、動作を停止します 温度：-10℃～+40℃</p>	<p>室内リモコン</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 温度変化が激しいところ <input type="checkbox"/> 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ <input type="checkbox"/> 振動、衝撃の影響が大きいところ <input type="checkbox"/> 水蒸気、油蒸気、雨水、結露、氷結のあるところ <input type="checkbox"/> 電界の影響が大きいところ <input type="checkbox"/> 直射日光が当たるところ <input type="checkbox"/> 次の温度範囲以外のところ 温度：0℃～+40℃
<p>蓄電システム</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 標高 1500m より高いところ <input type="checkbox"/> 直射日光が当たるところ <input type="checkbox"/> 重塩害地域 <input type="checkbox"/> 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ <input type="checkbox"/> 振動、衝撃の影響が大きいところ <input type="checkbox"/> 油蒸気、結露および氷結のあるところ <input type="checkbox"/> 浸水の恐れがあるところ <input type="checkbox"/> 電界の影響が大きいところ <input type="checkbox"/> 風通しが悪いところ <p>※ 次の温度範囲以外のところでは、動作を停止します 温度：-10℃～+40℃</p>	<p>室内リモコン</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 屋外 <input type="checkbox"/> 温度変化が激しいところ <input type="checkbox"/> 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有害ガスのあるところ <input type="checkbox"/> 振動、衝撃の影響が大きいところ <input type="checkbox"/> 水蒸気、油蒸気、雨水、結露、氷結のあるところ <input type="checkbox"/> 電界の影響が大きいところ <input type="checkbox"/> 直射日光が当たるところ <input type="checkbox"/> 次の温度範囲以外のところ 温度：0℃～+40℃ 			
<p>■ シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品を含んだ布でふかない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 装置の変色の原因となります。 	<p>■ 装置の近くでテレビやラジオなどを使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● テレビの画面が乱れることや、ラジオに雑音が入ることがあります。3m 以上離してご使用ください。 ● 受信している電波の弱い場所では電波障害を受ける恐れがあります。 	<p>■ 特定コンセントには AC100V・200V 合計で 3000W 以上の機器を接続しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 機器の故障の原因となることがあります。 		
<p>■ 廃棄処理・リサイクルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄する場合は、販売会社にお問い合わせください。 	<p>■ 吸排気孔が荷物や積雪で塞がらないようにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 温度上昇によりエラー発生する可能性があります。 	<p>■ 室内リモコンをぬれた手でふれたり、ぬれた布でふかない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 故障の原因となります。 		
<p>■ 近隣の住宅に密接した場所のような、騒音について厳しい制約をうける場所には設置しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 運転時はファンなどの動作音が発生します。 ● 運転時の動作音はまれに、聴覚感覚が高い方にとって不快に感じることがあります。 	<p>■ 自動切替盤をご使用のシステムでは、装置運転中に蓄電システム用ブレーカをオフしない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 装置が停電を検出し、自立運転を行うことで、自動切替盤が動作し、ご家庭のすべてのコンセントへの給電が本装置の自立運転出力となります。 			

もしもの「安心」、いつもの「節約」

この製品は、住宅の屋根などに設置した太陽光発電と蓄電池を併用して、暮らしに必要な電気を供給する「マルチ DC リンク蓄電システム」です。

[1] 一般的な使用例



① マルチ DC リンク蓄電システム

パワーコンディショナ（PCS）とリチウムイオン電池で構成され、太陽電池が発電した電力・蓄電池が蓄えた電力（DC）をご家庭で使える電力（AC）に変換します。

また、太陽光発電システム全体の運転を制御し、太陽光発電または系統の電力を蓄え、必要に応じて蓄えた電力を放電します。

② 室内リモコン

表示画面を備えた操作パネルです。

太陽光発電電力、充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行えます。

③ 太陽電池

太陽光を受けて発電します。

④ 家庭用分電盤

⑤ 家庭用コンセント

⑥ 蓄電池専用分電盤

蓄電システム用ブレーカ（連系漏電ブレーカ）、切替スイッチ、特定コンセント用ブレーカを内蔵しています。

※ 本装置の故障時には、切替スイッチを「商用電源」側にします。

⑦ 特定コンセント

停電時に使用したい機器を接続して使用します。

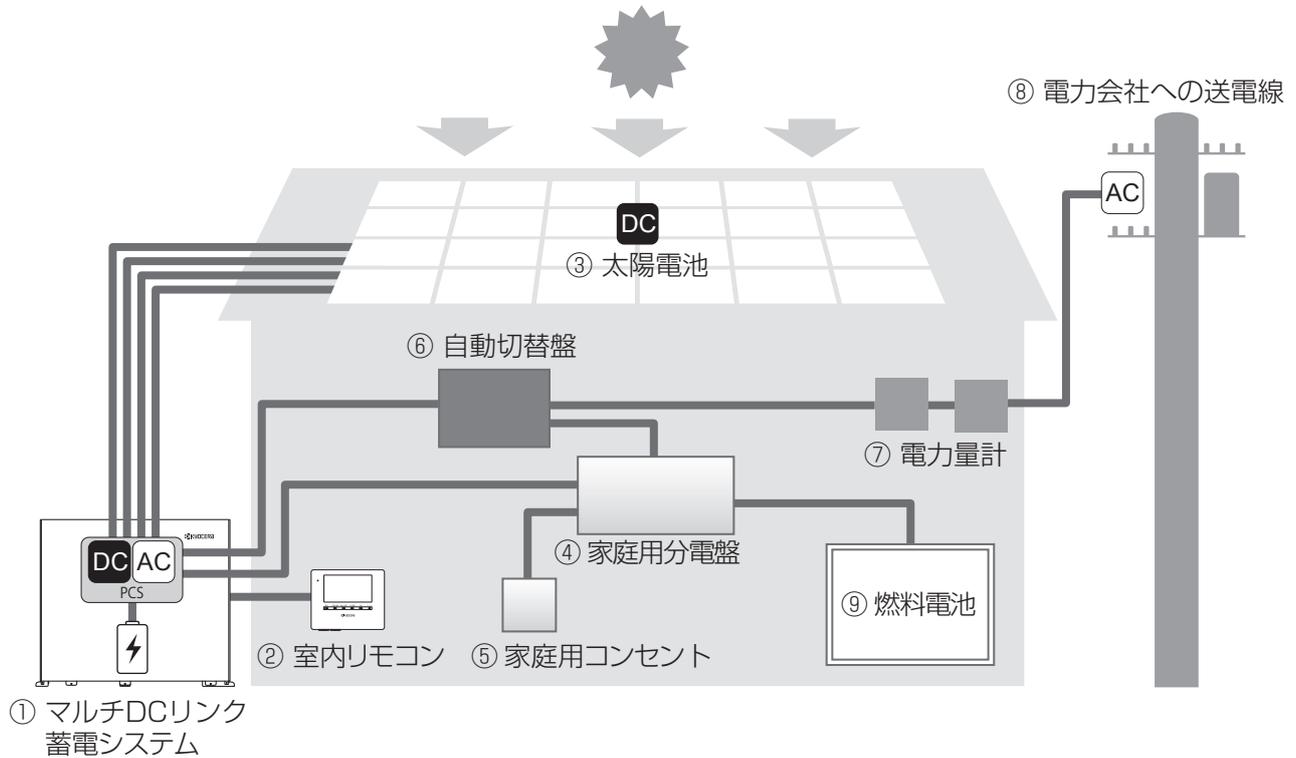
⑧ 電力量計

売電用と買電用の2種類があり、電力会社に売った電力（売電）と、買った電力（買電）を計量します。

⑨ 電力会社への送電線

不足電力を電力会社から購入（買電）し、余剰電力を電力会社へ送ります（売電）。

[2] 燃料電池連携システムの場合



① マルチ DC リンク蓄電システム

パワーコンディショナ（PCS）とリチウムイオン電池で構成され、太陽電池が発電した電力・蓄電池が蓄えた電力（DC）をご家庭で使える電力（AC）に変換します。

また、太陽光発電システム全体の運転を制御し、太陽光発電または系統の電力を蓄え、必要に応じて蓄えた電力を放電します。

② 室内リモコン

表示画面を備えた操作パネルです。太陽光発電電力、充電・放電状態の表示や各運転モードの設定が行えます。

③ 太陽電池

太陽光を受けて発電します。

④ 家庭用分電盤

⑤ 家庭用コンセント

⑥ 自動切替盤

自立出力用漏電ブレーカ、自動切替スイッチ※¹を内蔵しています。自立運転時にもご家庭内すべてのコンセントに電力を供給します。

⑦ 電力量計

売電用と買電用の2種類があり、電力会社に売った電力（売電）と、買った電力（買電）を計量します。

⑧ 電力会社への送電線

不足電力を電力会社から購入（買電）し、余剰電力を電力会社へ送ります（売電）。

⑨ 燃料電池

家庭用分電盤に接続し、本システム構成においては停電時にも燃料電池からの電力供給が可能となります。

※ 1 自動切替スイッチは切り替わる際に約 70 d B の音が発生します。

■ もしもの停電時も「安心」！

もしもの停電時や計画停電に備えて、蓄電システムからご家庭に、必要な電力をバックアップします。蓄電システムからの電力供給は、普段からお使いの特定コンセントに自動で切り替わるので、突然の停電でもコンセントの差し替えなどは不要です。

- 昼間の晴天時は、太陽光発電と蓄電池を併用して電力を供給します。
- 雨や曇りの日・夜間の停電でも、深夜電力で充電された蓄電池から電力を供給（放電）します。
- 停電時に冷蔵庫、液晶テレビ、LED 照明、ノートパソコン等必要最低限の家電製品を最大 13 時間（※）動かすことができます。

※ 太陽光発電がない場合、特定コンセントに約 430W の家電製品を接続した場合の目安です。
 実際のご使用では、蓄電池の充電量、その他の条件で変わります。

■ いつもの生活では「節約」！

系統電力と連系して、電気料金の安い深夜電力を蓄電池に充電し、充電しておいた電力は、朝・夕の電力使用ピーク時に効率よく利用できるため、電気料金の節約になります。

日常のご使用には、ご家庭の環境やお好みに合わせた運転モードを選ぶことができます。

特長

① 省スペース設置

蓄電システムに太陽光パワーコンディショナを内蔵しており、省スペースでの設置が可能です。

② 効率的な DC 充電

太陽光パワーコンディショナと蓄電システムを一体化することで、太陽光発電電力を直流（DC）電力のまま効率的に充電することができます。

③ リチウムイオン蓄電池搭載

7.2kWh（※）のリチウムイオン蓄電池を搭載しています。

※ 電池長寿命化のために、実際の充放電容量は、定格の8割程度で運転しています。

また、低温時は使用可能容量が一時的に減少する場合があります。

④ 安心の 10 年保証

長寿命のリチウムイオン蓄電池だから、長くご使用いただけます。

10年間の保証付き（※）で、万が一のときも安心です。詳細は、保証書の内容をよくお読みください。

※ 室内リモコンは2年保証となります。

⑤ 太陽電池の発電エネルギーを効率よく取り出します

温度や日射によって変化する太陽電池特性に対して、太陽電池入力ごとに制御を行い、発電エネルギーを効率よく取り出します。

⑥ 遠隔出力制御機能を装備

電力会社からの出力抑制指令にしたがい、出力を抑制します。抑制した電力は可能な限り蓄電池へ充電します。

※ 遠隔出力制御には、HEMS 機器、インターネット契約が必要です。

⑦ 室内リモコンを標準で装備

停電時でも操作できる室内リモコンを装備しています。

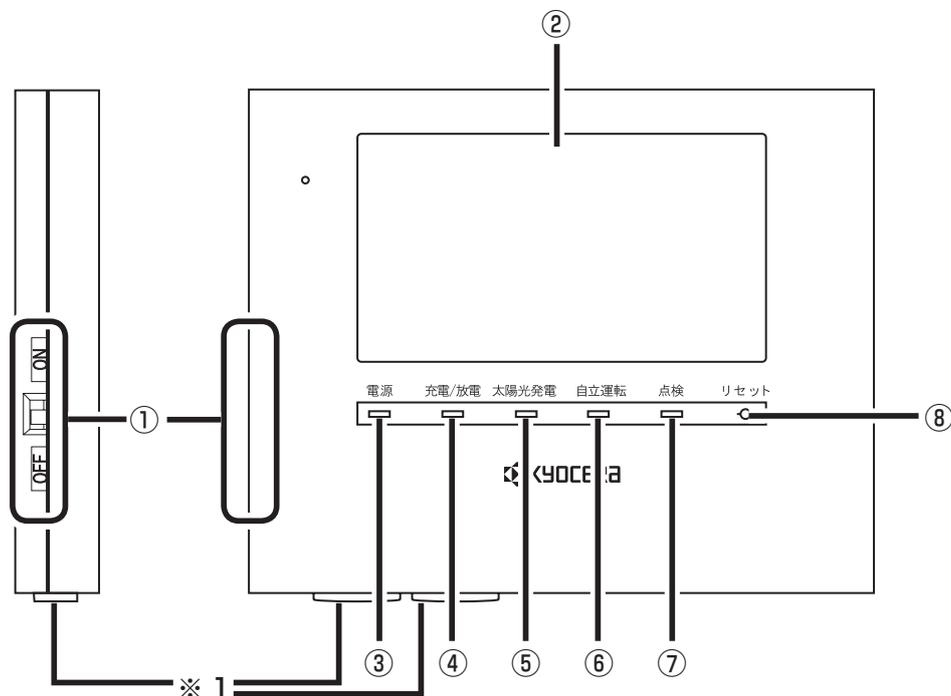
室内リモコンの画面で太陽光発電電力、蓄電池充電・放電電力が一目でわかります。タッチパネルを採用しているので、画面を見ながらタッチするだけで、かんたんに操作できます。非常時は、画面のメッセージで操作をご案内するため、困ったときも安心です。

⑧ HEMS で 運転状況がわかります

HEMS(Home Energy Management System)へ電力データを転送して、ご家庭での節電を賢く管理します。HEMS を利用する場合は、販売会社にご確認ください。

室内リモコン各部の名前とはたらき

室内リモコンの本体について



① 電源スイッチ	システムの電源スイッチです。 ※ 電源スイッチが OFF の場合は装置本体が停止します。通常は OFF にしないでください。
② 画面	表示画面を兼ねたタッチパネルです。太陽光発電電力、充電・放電電力の表示や各運転モードの設定が行えます。
③ 電源ランプ	電源 ON 時に点灯します。
④ 充電 / 放電ランプ	充電中： 橙 放電中： 緑 運転状態にあわせて橙 / 緑で点灯します。
⑤ 太陽光発電ランプ	太陽光発電中に点灯します。
⑥ 自立運転ランプ	停電時の自立運転中に点灯します。
⑦ 点検ランプ	エラーで停止している場合に点滅します。
⑧ リセットボタン	室内リモコンをリセットすることができます。通常は使用しません。

※ 1 USB 端子× 2 個は保守サービス用ですので、使用しないでください。
接続する機器によっては、リモコンの電源が落ち、装置が停止する可能性があります。

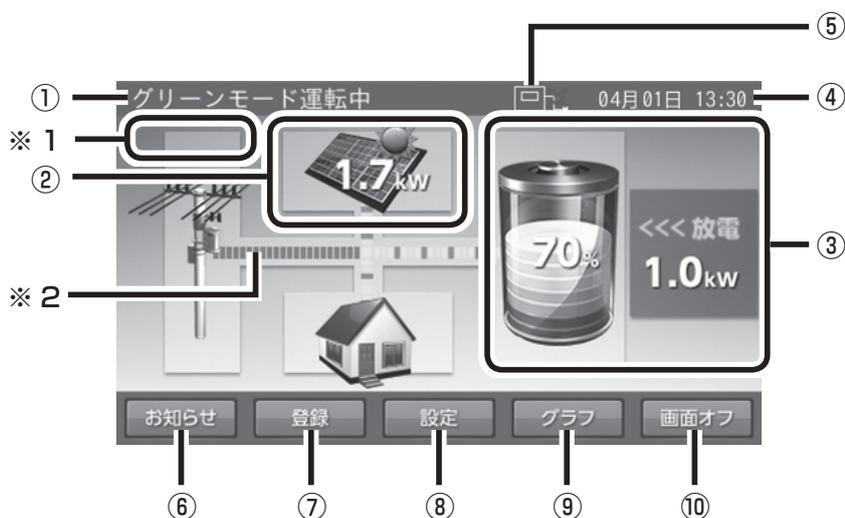
警報ブザー内蔵

エラー発生時、エラーの種類によっては室内リモコン内部の警報ブザーが鳴ることがあります。

室内リモコンの表示について

この製品は、室内リモコンの画面をタッチして操作を行います。

■ ホーム画面

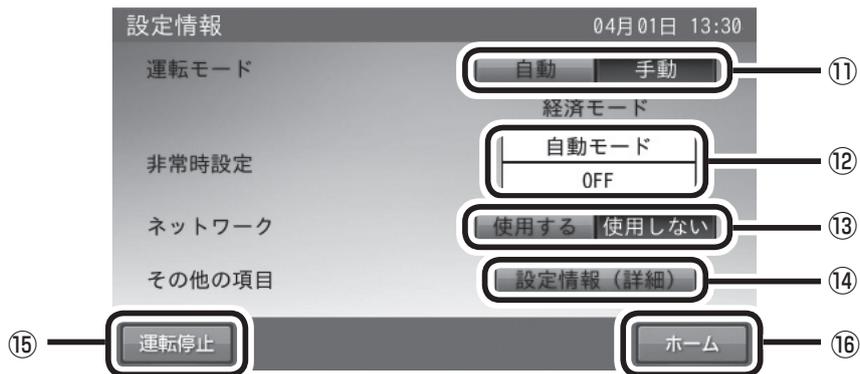


① 運転モード	運転モードと動作状態を表示します。(P.20 ページ) HEMS 機器からの操作中には、「リモート」を表示します。
② 太陽光発電情報	太陽光発電電力を表示します。(P.17 ページ)
③ 充放電情報	充放電状態と充放電電力、および蓄電池残量を表示します。(P.16 ページ) ※ 蓄電池残量は、100%、0%と表示されても、しばらくすると、99%、1%のように表示が変わる場合があります。
④ 現在日時	現在日時を表示します。(P.26 ページ)
⑤ ネットワーク情報	通常は表示しません。 ネットワークを使用する場合のみ表示します。(P.25 ページ)
⑥ お知らせ	タッチすると「お知らせリスト」画面を表示します。(P.18 ページ) 未読のお知らせがある場合、[お知らせ]部にメールマーク (✉) が表示されます。
⑦ 登録	タッチすると「登録」画面を表示します。(P.19 ページ)
⑧ 設定	タッチすると「設定情報」画面を表示します。(P.12 ページ)
⑨ グラフ	タッチすると「グラフ表示選択」画面を表示します。(P.16 ページ)
⑩ 画面オフ	タッチすると画面が消えます。再度画面をタッチすると表示します。

※ 1 遠隔出力制御機能が動作中には「遠隔出力制御中」を表示します。(P.32 ページ) また、停電後復電した際に電力会社との協議で定められた時間のカウントダウンを行います。(P.15 ページ)

※ 2 太陽光発電・蓄電池・系統・家庭内コンセント 間の電力の流れイメージを表示します。
本装置以外の発電装置が接続されたシステムでは電力の流れを正しく表示できない場合があります。

■ 設定情報画面



⑪ 運転モード設定	タッチするとそれぞれの運転モードの選択画面を表示します。(P.20 ページ) 自動で動作する運転モードと手動の運転モードを設定します。 運転モードが選択されると項目は緑色で表示されます。
⑫ 非常時設定	タッチすると「非常時設定」画面を表示します。(P.22 ページ) 非常時の運転モードと非常時のために残しておく蓄電池の残量を設定します。
⑬ ネットワーク	タッチするとネットワークの使用・不使用を設定する画面を表示します。 (P.25 ページ) 通常は使用しません。
⑭ その他の項目	タッチすると「設定情報 (詳細)」画面を表示します。(P.24 ページ) 現在日時や画面明るさ等の設定を行います。
⑮ 運転設定	タッチすることで蓄電システムの運転を開始・停止させます。 動作状態により表示が変わります。 停止中のときは「運転開始」、停止中以外のときは「運転停止」が表示されます。
⑯ ホーム	タッチするとホーム画面を表示します。(P.11 ページ)

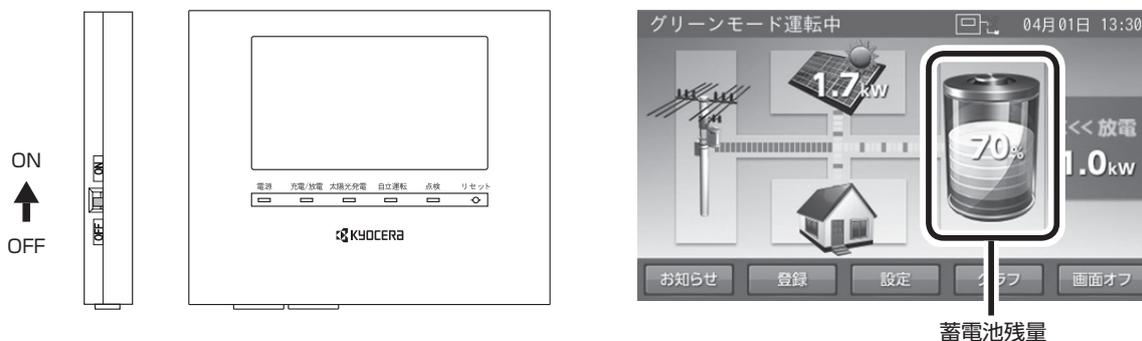
■ 自動運転モード設定画面



⑰ 	タッチすると機能の説明を表示します。
⑱ 運転モード	運転モードを選択します。 選択された運転モードは緑色で表示されます。
⑲ 充放電開始停止時刻	タッチすると充放電の開始時刻・停止時刻の設定画面を表示します。
⑳ 確定、キャンセル	設定内容を反映させる際に「確定」を、設定を中止する際に「キャンセル」をタッチします。

通常時の使い方（連系運転）

太陽電池で発電した電力または夜間に充電した電力を家庭用分電盤に供給します。発電量が多いときは家庭内の家電製品では使い切れずに余った電力を電力会社に売り（売電）、発電量が少ないとき（雨・曇天日）や夜間は不足分を電力会社から買います（買電）。



※ 蓄電池残量は、100%、0%と表示されても、しばらくすると、99%、1%のように表示が変わる場合があります。

これは、一度使い切った乾電池でもしばらくすると、少しだけ使えるように、電池の基本特性によるもので故障ではありません。また、非常時安心設定の表示も同様に表示が変わる場合があります。

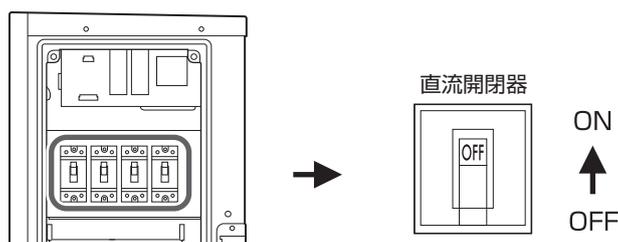
リモコンの蓄電池残量は目安としてお使いください。

※ 電力契約によっては、充電時間帯に他の家電製品（電気温水器、床暖房等）を多く使っている場合、充電できる電力が不足し、100%まで充電できない場合があります。

その場合は、電力契約の見直し等について販売会社に相談してください。

連系運転を開始するためには、以下の準備が必要です。（初めて連系運転を開始するときに専門業者が行います。通常は操作する必要はありません。）

- ① 蓄電システム用ブレーカ（連系漏電ブレーカ）を「ON」にする。
- ② 本体側面の太陽電池が接続された太陽電池用直流開閉器を全て「ON」にする。



- ③ 室内リモコンの電源スイッチを「ON」にする。
- ④ 設定情報画面で「運転開始」をタッチする。

太陽光発電・充放電を一時的に止めたい場合

故障以外に、太陽光発電・充放電を止めたい場合は、「待機」を選択することで、太陽光発電、充電、放電を行わないモードに設定することができます。設定方法は、「運転モードを選ぶ」（[P.20](#) ページ）を参照してください。

※ 「待機」モードは手動モードです。「運転モードを選ぶ」の「充放電時刻を設定する」（[P.20](#) ページ）で設定した充放電時間帯に関わらず停止しているため、必要のない場合は、「グリーンモード」、「経済モード」を選択してください。

停電時の使い方（自立運転）

停電が発生した場合、通常本蓄電システムは特別な操作は必要ありません。

蓄電池あるいは太陽電池より、AC100V/AC200V、最大 3000VA を自立出力します。

停電時の室内リモコンの表示は下図のようになります。専用分電盤をご使用する場合、特定コンセントに電力を供給します。自動切替盤（燃料電池連携）をご使用の場合、ご家庭内のすべてのコンセントに電力を供給します。



※ 太陽光発電電力の余剰分は、充電時間帯と関係なく蓄電池へ充電されます。

※ 万一、専用分電盤の切替スイッチが商用電源側にたおれている場合は、停電時特定コンセントへ電力供給されませんので、停電時には切替スイッチを蓄電池側へたおしてお使いください。

※ 自動切替盤をご使用の場合、装置運転中に蓄電池システム用ブレーカをオフすると、停電状態と同様に、ご家庭のすべてのコンセントへの給電が本装置の自立運転出力へ切り替わります。

停電時の家電製品の利用について

■ 自立運転時の特定コンセントへの定格出力は、3000VA（目安：3000W）です。

電気の使い過ぎや使用中の家電製品の特性により、定格 3000VA を超える電流が流れると、内部の安全装置が作動し、室内リモコンにメッセージを表示して、コンセントへの給電を停止します。

下記の家電製品の特定コンセントへの接続は避ける、または注意してください。

途中で電源が切れると困る家電製品	接続禁止	医療機器、デスクトップ型パソコン等
突入電流が大きい家電製品	動作しない場合がある	掃除機、遠赤外線ヒーター等
消費電力が大きい家電製品	動作しない場合がある	電子レンジ、電気ストーブ等

- 消費電力が大きい家電製品を利用する際には、動作させる前に、他の接続している家電製品を減らす等、特定コンセントの定格を超えないように工夫してください。
- もし、安全装置が作動してしまった場合は、リモコンのメッセージに従って、接続している家電製品の数を減らして、システムを再起動させてください。

■ 下記の家電製品を最大 13 時間利用可能（※）です。

接続家電製品例

- 冷蔵庫：120W
 - 液晶テレビ：170W
 - リビング用 LED 照明：100W
 - ノートパソコン、ルーター等：30W
 - 携帯電話充電（2 台）：10W
- 合計：約 430W



※ おおよその目安です。実際のご利用では蓄電池の充電量、使用環境で変わります。

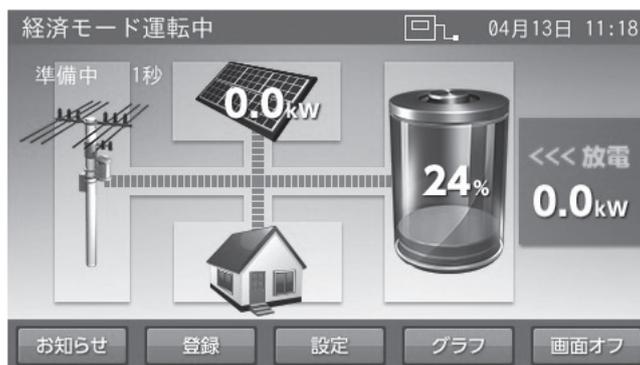
復電時の操作

停電後復電した場合、通常本蓄電システムは特別な操作は必要ありません。

※ 電力会社との協議で定められた時間内（最大 300 秒）は、復電しても「準備中（パワーコンディショナ停止状態）」になります。

復電後電力会社との協議で定められた時間を経過すると、本装置は通常時のモードで動作します。

※ 停電時に専用分電盤の切替スイッチを操作した場合は、切替スイッチを元に戻してください。



グラフを表示する

充放電電力量や蓄電池残量、太陽光発電の発電量を日ごとにグラフで表示できます。

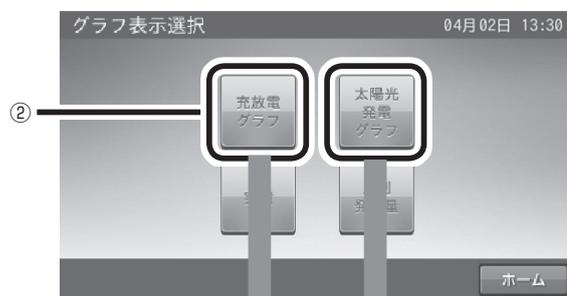
① グラフ選択画面に切り替える

ホーム画面で「グラフ」をタッチします。
グラフ表示選択画面が表示されます。



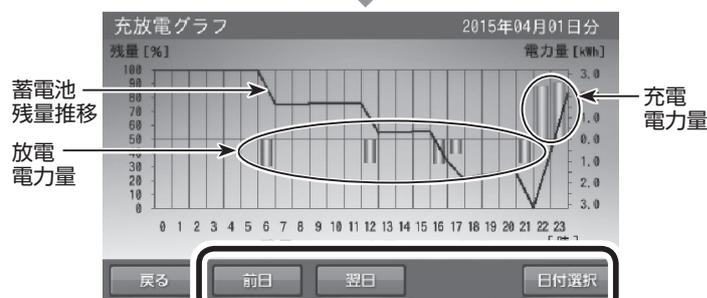
② グラフを表示する

表示したいグラフをタッチします。
現在日のグラフが表示されます。



③ 日付を切り替える

「前日」と「翌日」をタッチして切り替えます。
または「日付選択」をタッチして表示したい日付を入力します。



④ 特定の日付を選択する

日付の中で変更したい項目をタッチし、数字キーをタッチすると、日付を入力できます。

← / → をタッチすると、カーソルが移動します。
日付は、設置日から現在日の範囲で選択できます。



⑤ 入力した日付のグラフを表示する

「決定」をタッチします。

※ グラフの表示値はあくまで目安としてご確認ください。

※ 充放電グラフでは、充放電終了後に蓄電池残量が数%増減する場合がありますが、電池特性によるもので異常ではありません。

発電量を確認する

運転開始から現在までの積算発電電力量、瞬時最大発電電力や月別の発電量を確認できます。

① グラフ選択画面に切り替える

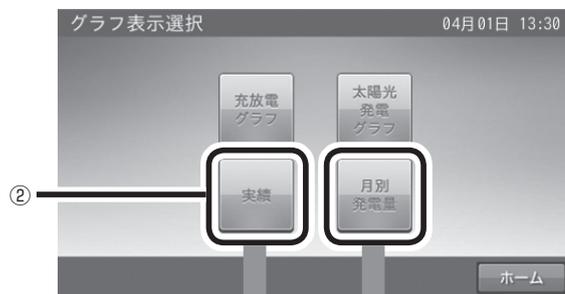
ホーム画面で「グラフ」をタッチします。
グラフ表示選択画面が表示されます。



② 積算データを表示する

表示したい項目をタッチします。

※ 売電・買電電力量や消費電力量は表示されません。



月別発電量		04月01日 13:30
年 月	発電量 [kWh]	
2014年12月	22.9	
2015年 1月	91.7	
2015年 2月	269.8	
2015年 3月	388.5	
2015年 4月	1.8	

戻る

使い方

お知らせを確認する

蓄電システムや、室内リモコンの状態をお知らせします。

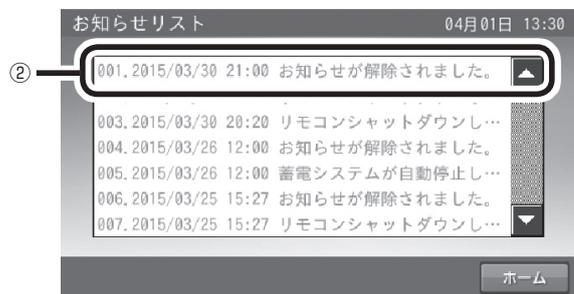
① お知らせリストを表示する

ホーム画面で「お知らせ」をタッチします。



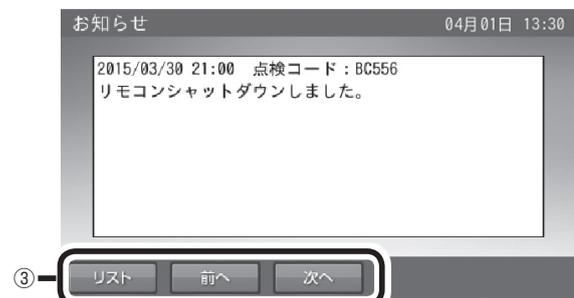
② お知らせリスト画面から項目を選択する

リストの中で表示したい項目をタッチします。
未読のお知らせは黒で、既読のお知らせはグレーで表示されます。
リストには、最大 100 件のお知らせが表示できます。



③ お知らせの内容を表示する

「リスト」をタッチすると「お知らせリスト」画面に戻ります。
「次へ」をタッチするとお知らせリストの上の項目へ、
「前へ」をタッチするとお知らせリストの下の項目へ移行します。



登録情報を確認する

蓄電システムに登録されている機器情報を確認します。

① 登録情報を表示する

ホーム画面で「登録」をタッチします。
登録情報の1ページ目が表示されます。



② 登録情報のページを切り替える

「次へ」をタッチすると2/2画面へ、
「前へ」をタッチすると1/2画面へ切り替わります。

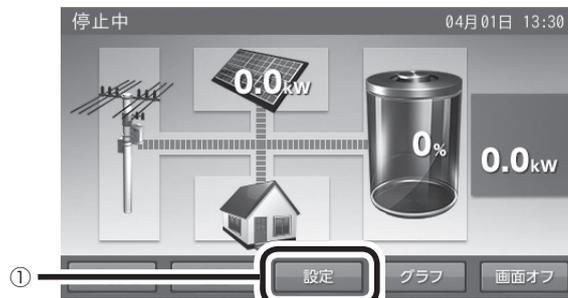


運転モードを選ぶ

通常時の運転モードをお客様のお好みに合わせて選択してください。

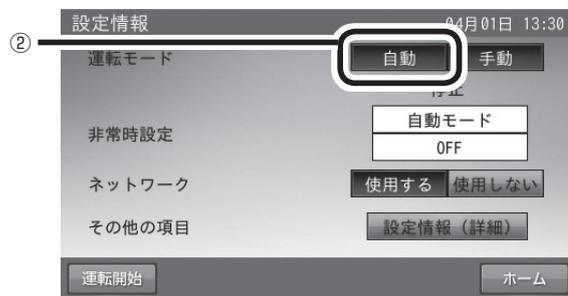
① 「設定情報」画面に切り替える

ホーム画面で「設定」をタッチします。



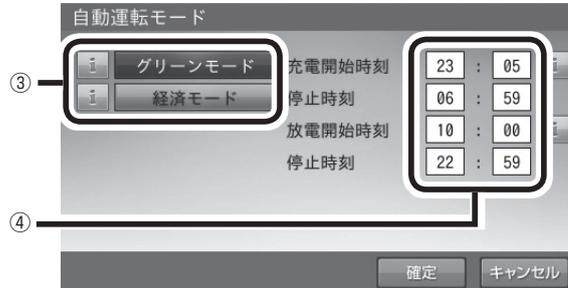
② 「自動運転モード」画面に切り替える

設定情報画面で運転モードの「自動」をタッチします。



③ 運転モードを選択する

設定したい運転モードをタッチします。



④ 「充電時刻」「放電時刻」画面に切り替える

時刻の数字部分をタッチします。



⑤ 充放電時刻を設定する

● 工場出荷時の設定は次のとおりです。

「充電開始時刻 / 停止時刻」：23時05分～6時59分

「放電開始時刻 / 停止時刻」：10時00分～22時59分

設定したい項目の時刻をタッチし、数字キーをタッチすると、新しい時刻が入力されます。

← / → をタッチすると、カーソルが移動します。
時刻設定後、「決定」をタッチします。

充電開始時刻 停止時刻	蓄電池に充電するときの、開始 / 停止時刻を設定できます。 ● 充放電の時間帯が重複しないように設定してください。また、開始 / 停止時刻が同じにならないようにしてください。
放電開始時刻 停止時刻	蓄電池から電力供給するときの、開始 / 停止時刻を設定できます。 ● 充放電の時間帯が重複しないように設定してください。また、開始 / 停止時刻が同じにならないようにしてください。

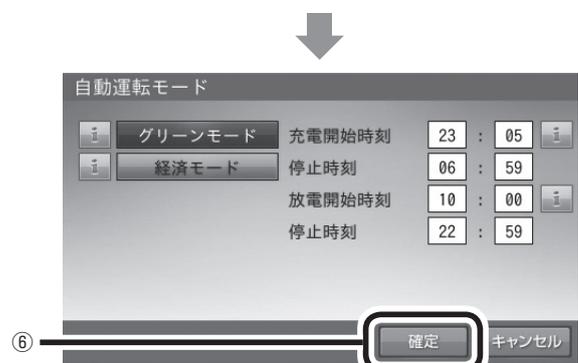
※ 周囲温度が低い場合、蓄電池の特性上充電可能量が減少し、100%にならない場合がありますが故障ではありません。

※ 充電開始時刻を 23 時 05 分より遅らせる、あるいは、充電停止時刻を 6 時 59 分より前に設定し、充電時間が 8 時間未満になると充電時間が不足し、100% 充電にならない場合があります。

※ 放電開始時刻は充電停止時刻より 1 時間以上あけた時刻を設定してください。1 日に 1 度約 40 分間の蓄電池待機状態がない場合は、設定時刻によらず、自動的に約 40 分間の蓄電池待機状態となる場合があります。

⑥ 設定したモードを保存する

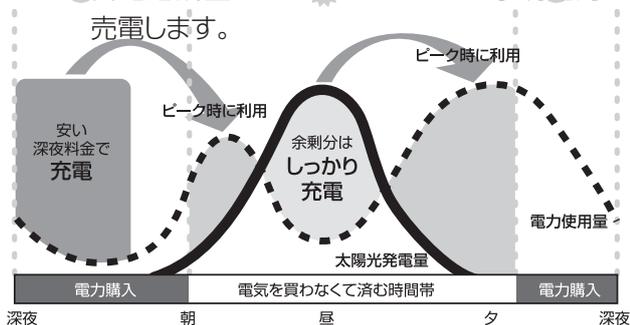
「自動運転モード」画面で「確定」をタッチします。



■ グリーンモード

充電を電気料金が割安な深夜時間帯に、放電を昼間の電気料金が割高な時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。太陽光により発電した電力の余剰分で蓄電池の充電を行います。

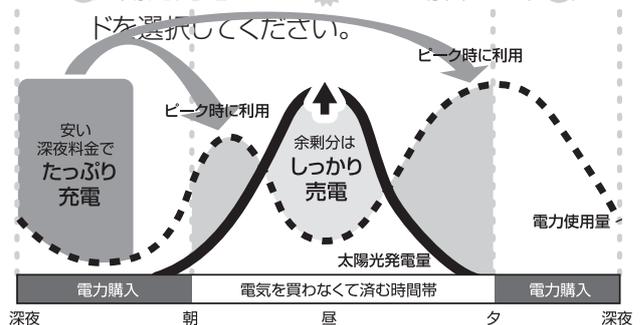
※ 蓄電池残量が 100% のときは、余剰電力を売電します。



■ 経済モード

充電を電気料金が割安な深夜電力時間帯に、放電を昼間の割高な時間帯に設定することで、電気料金の節約が可能になります。放電の時間帯には、売電中は蓄電池から放電は行わず、買電中のみ同じ電力を放電します。

※ 太陽光発電システムがない場合も、経済モードを選択してください。



■ 待機

時間帯に関係なく、太陽光発電および充放電を行わないモードです。運転を止めたい場合に設定します。通常は使用しません。

※ ただし、非常時安心設定レベルまでは太陽光発電電力から充電を行います。

※ 長期間「待機」で放置されると、蓄電池が充電されないため、使用できなくなる可能性があります。長期間「待機」でのご利用はお控えください。

非常時（停電時）の設定をする

もしも停電になったときのために、非常時運転モードや非常時安心設定をお客様のお好みに合わせて選択してください。

- 工場出荷時の設定は次のとおりです。

「非常時運転モード」：自動モード

「非常時安心設定」：OFF

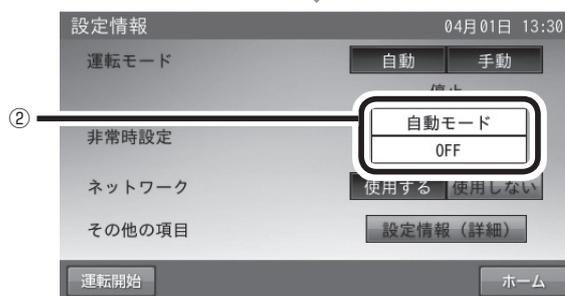
① 「設定情報」画面に切り替える

ホーム画面で「設定」をタッチします。



② 「非常時設定」画面に切り替える

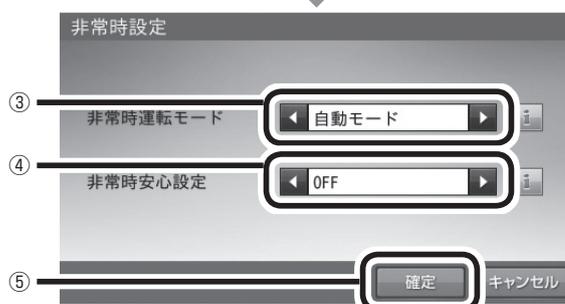
設定情報画面で「非常時設定」の項目をタッチします。



③ 非常時運転モードを選択する

非常時運転モードを「自動モード」か「待機モード」に選択します。

◀ / ▶ をタッチすると、設定が変更できます。
非常時運転モードについては、次ページをご覧ください。



④ 非常時安心設定を選択する

設定をOFF/30%/40%/50%/60%/70%/100%から選択します。

◀ / ▶ をタッチすると、設定が変更できます。
停電時に特定コンセント等へ給電できるように、通常時の利用を指定蓄電池残量までに制限する設定です。指定蓄電池残量を下回ると給電を停止します。また、指定蓄電池残量までは運転モード「待機」状態でも太陽光発電電力からの充電を行います。

⑤ 設定を保存する

非常時設定画面で「確定」をタッチします。

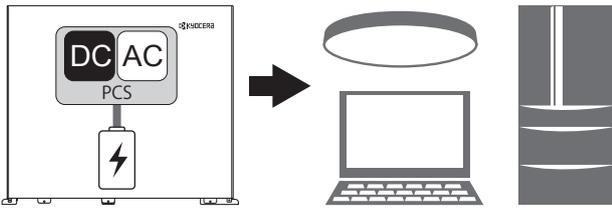
非常時運転モードについて

停電時の動作設定です。

自動モード



太陽光電池

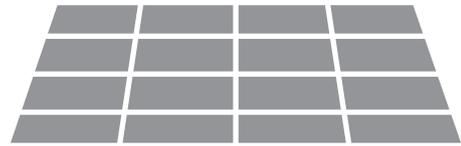


マルチDCリンク蓄電システム

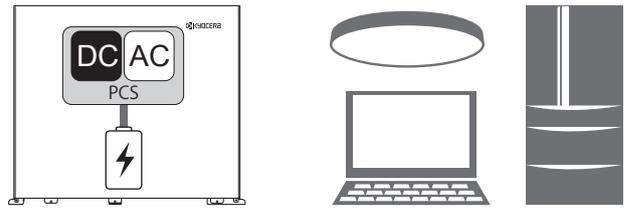
特定コンセント

蓄電池と太陽光発電から家庭用負荷への電力給電を行います。
太陽光発電中は太陽光の電力を優先して使用し、余剰電力は蓄電池へ充電します。

待機モード



太陽光電池



マルチDCリンク蓄電システム

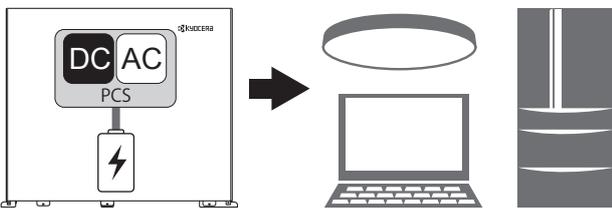
特定コンセント

家庭用負荷への電力供給は行いません。太陽光発電中は蓄電池へ充電します。

燃料電池等との連携システムにおける停電時動作



太陽光電池



マルチDCリンク蓄電システム

コンセント



燃料電池等

- 自動モード
燃料電池と連携したシステムの場合、停電時には、燃料電池と蓄電池と太陽光発電からご家庭のすべての負荷へ電力供給を行います。
燃料電池が発電している場合は、燃料電池を最優先とし、太陽光発電、蓄電池の優先順で電力供給を行い、余剰電力は蓄電池へ充電します。
- 待機モード
家庭用負荷への電力供給は行いません。太陽光発電中は蓄電池へ充電します。

設定

タッチパネルや操作音の設定を変更する

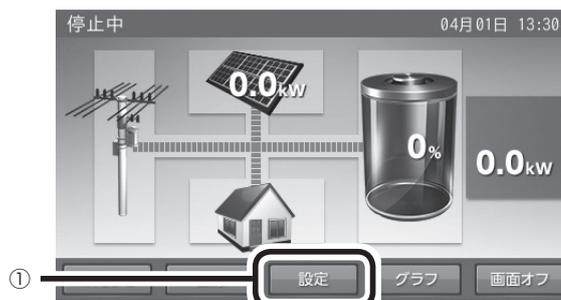
タッチパネルの画面の明るさや画面操作音などを、お好みで調整してください。

- 工場出荷時の設定は次のとおりです。

「画面オフ時間」： 5分
 「操作音」： ON
 「画面明るさ」： 5

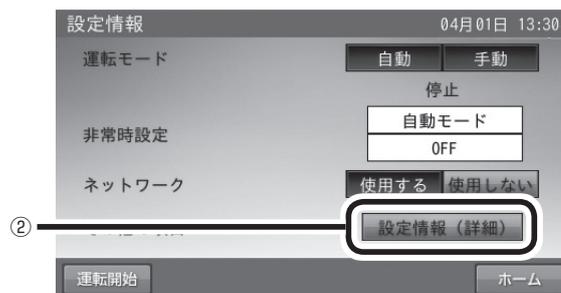
① 「設定情報」画面に切り替える

ホーム画面で「設定」をタッチします。



② 「設定情報（詳細）」画面に切り替える

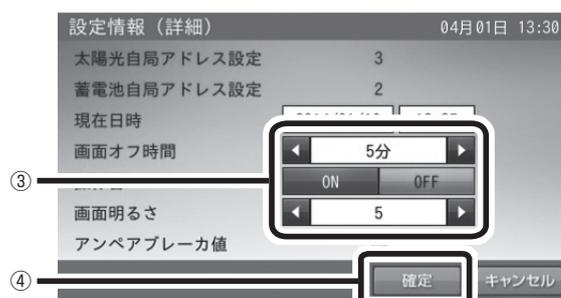
「設定情報」画面で「設定情報（詳細）」をタッチします。



③ 設定を変更する

設定したい項目をタッチします。

◀ / ▶ をタッチすると、設定が変更できます。



画面オフ時間 (分)	タッチパネルを操作していないときに、画面が消灯するまでの時間を設定できます。
操作音	画面操作音を ON/OFF 設定できます。
画面明るさ	タッチパネルが見つらいと感じたときに、お部屋の明るさに合わせて、タッチパネルの明るさを 1 ～ 10 段階で設定できます。

④ 設定を保存する

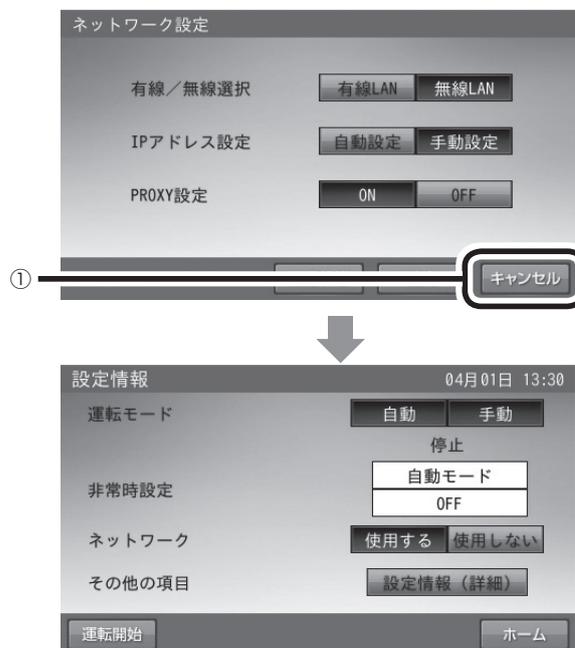
設定情報（詳細）画面で「確定」をタッチします。

ネットワークの設定について

※ ネットワーク設定は通常、設置時に設定致しますので、お客様に設定していただく必要はありません。

ネットワーク設定画面に入ってしまった場合

- ① 「キャンセル」をタッチして、設定情報画面に戻る
次の画面で「はい」を選択して設定情報画面に戻ります。



- ECHONET Lite 通信で接続する場合は、お客様のネットワーク環境と別途配線工事が必要となります。ご利用に関しては、弊社専用ダイヤル（☎裏表紙）もしくは、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

日時の設定

現在日時の設定ができます。

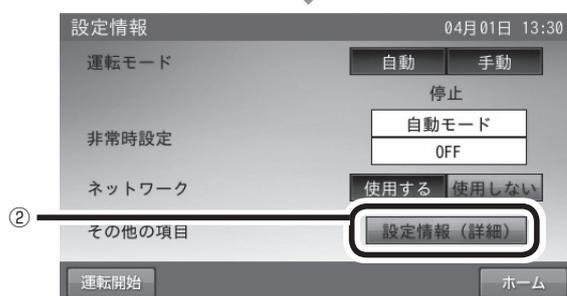
① 「設定情報」画面に切り替える

ホーム画面で「設定」をタッチします。



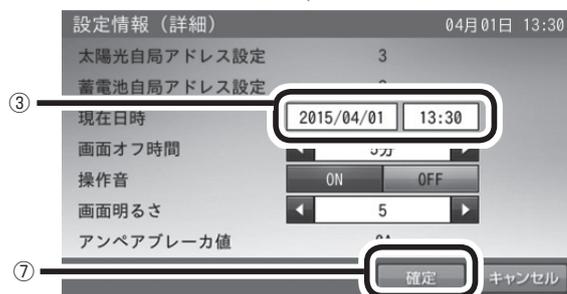
② 「設定情報（詳細）」画面に切り替える

設定情報画面で「設定情報（詳細）」の項目をタッチします。



③ 「現在日時」画面に切り替える

現在日時の項目をタッチします。



④ 日時を変更する

変更したい日時をタッチします。

⑤ 日時を設定する

数字キーをタッチすると、日時が入力されます。

← / → をタッチすると、カーソルが移動します。

⑥ 変更を確定する

「決定」をタッチします。



⑦ 設定を保存する

設定情報（詳細）画面で「確定」をタッチします。

- 現在日時は長年使用されると進みや遅れが生じることがあります。定期的な修正することをお勧め致します。（時計精度は月差約 30 秒）

現在日時に進みや遅れが生じると、電力会社との契約によっては、割高な電気料金で充電を行ってしまう等の問題が発生してしまいます。

こんなときは

ブザーが鳴ったとき

ブザーが鳴ったとき、または点検ランプが点滅しているときは、室内リモコンの画面に表示されるメッセージの内容に従って、処置してください。

機器から発生する音について

以下の音は本製品の異常ではありません。

ジージー音	
チリチリ音	製品内部の回路が動作するときに発生する音です。
チャリチャリ音	
カチャ音	製品内部の機械部分が動作するときに発生する音です。(運転開始時と、停止時に発生します)
ブーン音	ファンの音です。

- 運転時の高周波音はまれに、聴覚感度が高い方にとっては不快に感じる場合があります。

アンペアブレーカが頻繁に落ちる場合

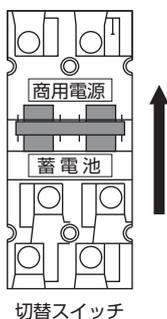
アンペアブレーカが頻繁に落ちる場合は、弊社専用ダイヤル(☎ 裏表紙)もしくは、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

アンペアブレーカの容量を変更する場合

アンペアブレーカの容量を変更する場合は、弊社専用ダイヤル(☎ 裏表紙)もしくは、お買い上げの販売会社へご連絡ください。

蓄電システムが停止した(停止させる)場合

- 専用分電盤内または分電盤内の連系漏電ブレーカを「OFF」にしてください。
連系漏電ブレーカには「蓄電システム」のシールが貼ってあります。
- 専用分電盤内の切替スイッチを「商用電源」側にしてください。
※ 蓄電システムが停止すると、特定コンセントへは給電されません。必ず、「商用電源」側への切り替えを行ってください。



スイッチを上にあげて、「商用電源」側に切り替える。

※ 故障時以外は、契約ブレーカ、主幹漏電ブレーカ及び、蓄電システム用ブレーカ(連系漏電ブレーカ)を「OFF」にしないでください。長期間放置されると蓄電池が充電されないため、使用できなくなる可能性があります。

注意

- 連系漏電ブレーカを「OFF」にしたまま、長期間放置される場合は、弊社専用ダイヤル(☎ 裏表紙)にご連絡ください。

※ 自動切替盤を用いたシステムでは本操作は不要です。

特定コンセントのみ停電になる場合

特定回路の定格出力は 3000W です。専用分電盤のブレーカ容量を超えている可能性がありますので、接続している家電製品を減らす等、定格を超えないように工夫してください。(☎ 14 ページ)
それでも頻繁に落ちる場合には、弊社専用ダイヤル(☎ 裏表紙)にご連絡ください。

エラーメッセージが表示されたとき

エラーメッセージが表示されたときは、本製品の故障が考えられます。次の表にしたがって処置してください。弊社専用ダイヤルもしくは、お買い上げの販売会社に連絡して頂く際には、画面に表示される機種番号・シリアル番号・点検コードもご連絡ください。



※ 非表示ボタンをタッチすると、エラーメッセージ画面が解除されます。
エラー状態が継続している場合には、解除後もしばらくすると、再度エラーメッセージが表示されます。

※ エラーメッセージが表示された場合は、エラー音がでます。
消音ボタンをタッチすると、その都度エラー音を消すことができます。

エラーメッセージの内容と処置

エラーメッセージ	処置
充放電の時間帯が重なっているか、充放電の開始と終了が同時刻です。時間帯の重複が無い様に再設定してください。	時間帯の重複がないように再設定してください。 (☞ 20 ページ)
蓄電システムが安全のため自動停止しました。 取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。 点検コード：BExxx	専用分電盤内にある切替スイッチを「商用電源」側にし、弊社専用ダイヤルもしくは、お買い上げの販売会社にご連絡ください。 (☞ 裏表紙)
蓄電システムが安全のため自動停止しました。 電気機器に異常の無い事を確認し、下のボタンで再起動してください。 自動停止を繰り返す場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。 点検コード：BExxx	弊社専用ダイヤルもしくは、お買い上げの販売会社にご連絡ください。(☞ 裏表紙)
特定コンセント / スイッチの接続機器が規定電力を超えたため、給電を停止しました。 接続機器を減らした後、下のボタンを押して蓄電システムを再起動してください。 掃除機、電子レンジ、ドライヤー等、消費電力の大きな機器の使用は避けてください。 点検コード：BE206	掃除機、電子レンジ、ドライヤー、ヒーター等、消費電力の大きい機器のご使用はお控えください。
蓄電システムが自動停止しました。 安全確認後、自動的に復帰します。自動停止を繰り返す場合は取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。 点検コード：BFxxx、BExxx	弊社専用ダイヤルもしくは、お買い上げの販売会社にご連絡ください。(☞ 裏表紙)
蓄電システムの確認が必要です。 繰り返しメッセージが出る場合は、取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。 点検コード：BCxxx	弊社専用ダイヤルもしくは、お買い上げの販売会社にご連絡ください。(☞ 裏表紙)
蓄電システムの点検が必要です。 取扱説明書に記載されたお問い合わせ先へご連絡ください。 点検コード：BC417	弊社専用ダイヤルもしくは、お買い上げの販売会社にご連絡ください。(☞ 裏表紙)

温度による保護動作について

本体内の温度センサーにより -10°C 以下では BC425、 $+45^{\circ}\text{C}$ 以上では BC424 が表示されますが、それぞれ -15°C 以上 $+50^{\circ}\text{C}$ 以下であれば、自動復帰します。

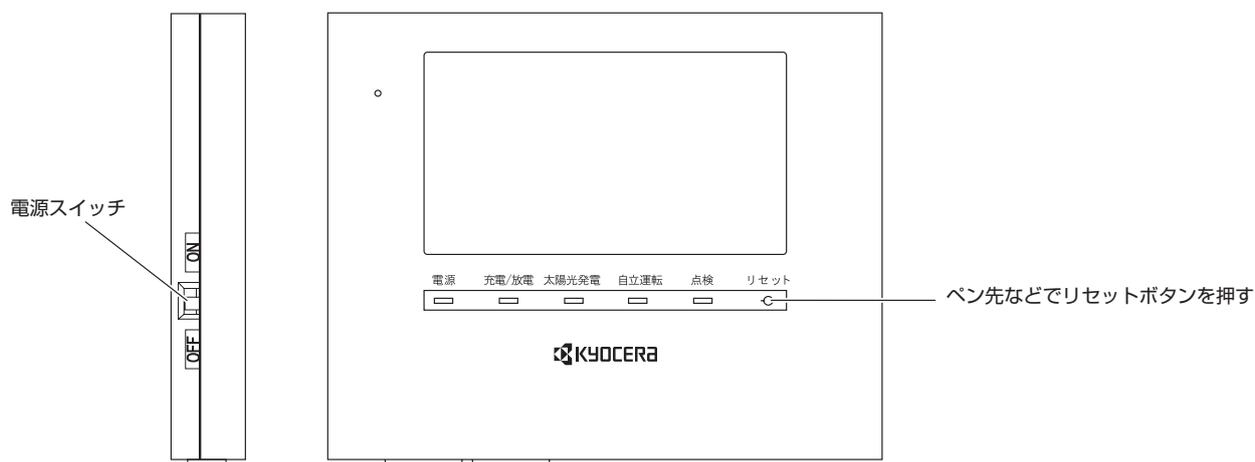
ただし、 -15°C よりも温度が低くなる、あるいは $+50^{\circ}\text{C}$ よりも温度が高くなると装置本体保護のため、エラー停止します。

温度異常の原因には、フィルタの目づまりも考えられます。点検とお手入れ (☞ 33 ページ) を参照して、フィルタの清掃を行ってください。

室内リモコンのリセット

室内リモコンをリセットすることができます。室内リモコンが動かなくなったときに行ってください。起動には数十秒かかります。

- ① 室内リモコンの左側面にある電源スイッチをオフにしてください。
数秒で室内リモコンがオフ状態になった場合には、リセットボタンを押す必要はありません。
- ② ①において電源がオフにならなかった場合には、電源スイッチをオフのままペン先などでリセットボタンを押してください。
- ② 電源スイッチをオンにしてください。



蓄電池のメンテナンスモードについて

■ メンテナンスモードとは、蓄電池を自動的に点検するモードです。

蓄電池の性能維持のために、年1回（6月）自動でメンテナンスモードを実行します。



「運転モードを選ぶ ④充放電時刻を設定する」(P.20 ページ) で設定されている充電開始時刻に充電を行い、その後、設定している通常動作モードで、時間帯に関係なく、蓄電池から放電を行います。メンテナンスモード終了後は、通常モードに戻ります。

※ メンテナンスモード実行中も、普段と同じように、家電製品をお使いいただけます。

※ メンテナンスモードでは、蓄電池残量 100% まで充電した後、0% まで放電を行います。家庭内負荷 1000W で使用の場合、メンテナンスモードに要する目安時間は 20 時間となります。

メンテナンスモードが長時間継続し、終わらない場合

- ご家庭の消費電力が少ない場合メンテナンスモードが長時間継続する場合があります。負荷が十分であれば通常 3 日程度で終了しますが、空調等を稼働することで早く終了させることができます。
- メンテナンスモード中に系統異常や機器異常が発生すると、メンテナンスモードは最初から再実行されます。

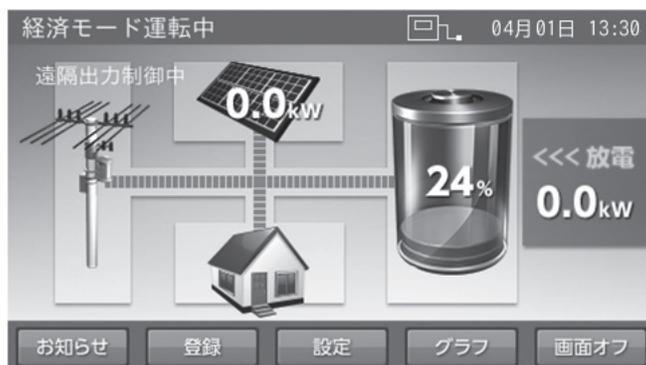
1 週間以上メンテナンスモードが継続する場合は販売会社にご相談ください。

遠隔出力制御について

2015年4月1日より、経済産業省による出力制御ルールの実施に伴い、本製品は遠隔出力制御（出力制限）ができる機能を搭載しています。本機能により、電力会社からの出力制御指令を、エコナビットⅣなどの計測用機器を通じて本装置が受け取り、制御指令値に応じた本装置のコントロールを行います。

※ 遠隔出力制御は省令により定められたものであり、機能を無効化することはできません。

- 出力制御が働いた場合は、リモコンのホーム画面内に「遠隔出力制御中」と表示されます。



- 本装置は、運転中に計測用機器を経由して電力会社と双方向通信を行います。双方向通信ができない状況が一定時間継続すると、装置本体は点検コード BF563 を室内リモコンに表示して停止します。室内リモコンに点検コード BF563 が表示されたときは次の表にしたがって、処置してください。
 - ・ 2015年4月1日から遠隔出力制御が運用開始されるまでの期間は、双方向通信状態の監視を行いませんが、計測用機器の電源は常時「ON」としてください。
 - ・ 停電時には出力制御機能は動きません。自立運転は従来と変わらずお使いいただけます。

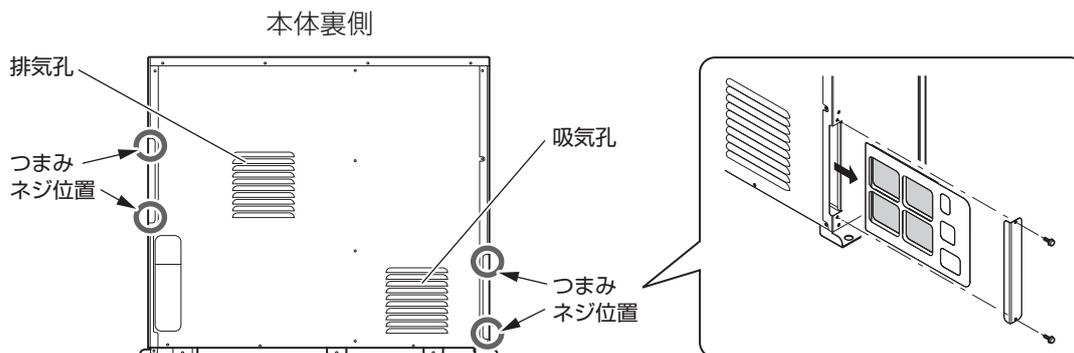
点検コード	表示メッセージ	処置
BF563	HEMS との接続が遮断されたため連系運転を停止しました。 HEMS との接続を確認してください。 HEMS が正常に動作しているか確認してください。	計測用機器の電源が入っているか確認してください。また、本装置と計測用機器の接続ケーブルが外れていないかを確認してください。 通信が正常に戻れば自動的に運転を再開します。 頻繁に発生する状態が続くようでしたら、何らかの異常が考えられますので、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

点検とお手入れ

フィルタの清掃

本装置裏面の右側にある吸気フィルタと左側にある排気フィルタを定期的に掃除してください。
また、紛失、破損した場合には、販売会社までご連絡いただき、新品を購入し交換してください。

- ① 本体裏面左右のフィルタカバーをつまみネジ 2 本を外して取り外し、中のフィルタを取り出してください。

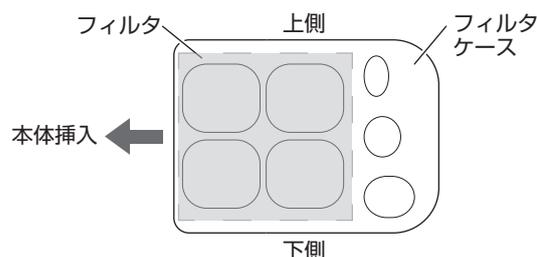


- ② フィルタのごみを掃除機を利用するなどして、取り除いてください。

- ③ 掃除済みフィルタを本体に取り付け、その上からフィルタカバーを取り付けてください。

※ フィルタは挿入向きがあります。
フィルタケースの抜き穴が縦に 3 つ並んでおり、下に大きくなるように挿入します。

例：吸気フィルタ



注意

- フィルタやフィルタカバーが正しく取り付けられていないと本体内部に小動物が浸入し、火災、故障の原因となります。
- 吸気孔や排気孔周辺が荷物や積雪で塞がらないようにしてください。

定期点検

任意による点検（有料）を推奨しています。点検実施の際には、お買い上げの販売会社までご連絡ください。

※ 弊社提携ハウスメーカーにてご購入のお客様へ

保証：定期点検に関する内容につきましては、提携ハウスメーカーの条件によるものとさせていただきます。
詳しくは提携ハウスメーカーへご確認ください。

風水害または地震時の対応

風水害時に水没の恐れがあるときは、リモコンの電源スイッチを「OFF」、蓄電システムブレーカ（連系漏電ブレーカ）を「OFF」にし、あらかじめ運転を止めてください。

また、水没した場合には、リモコンの電源スイッチを「OFF」、蓄電システムブレーカ（連系漏電ブレーカ）を「OFF」にし、運転を止めた状態でお買い上げの販売会社までご連絡ください。

地震の場合は、被害状況に応じて、販売会社までご連絡ください。

※ リモコンの電源スイッチを「OFF」、蓄電システムブレーカ（連系漏電ブレーカ）を「OFF」にした場合は、必ず専用分電盤内の切替スイッチを「商用電源」側に切り替えてください。

補助金に関するご注意

■ 購入時に補助金の交付を受けた方

補助金の支給を受けて本製品を購入した場合、設置時から法定耐用年数の6年間は、本製品を適正にご使用していただく必要があります。設置時から6年以内に修理が必要になった場合は、弊社専用ダイヤル（☎裏表紙）もしくは、お買い上げの販売会社にご連絡ください。

保証とアフターサービス

保証について

保証については保証書の内容をよくお読みください。

保証書は、弊社または販売会社からお渡ししますので、必ず販売会社名、引渡日等の記入をお確かめになり大切に保管してください。

※ 上記の記載がない場合に無効となることがあります。

アフターサービスについて

● ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

● 修理を依頼される時

修理を依頼される場合、次のことをお知らせください。

- ・ お買い上げ時期
- ・ 装置の型式と製造番号（装置側面の定格ラベル（ 38 ページ）に表示）
- ・ 故障の状況（点検コード、故障発生時の時間と天候など）

● 補修用性能部品の最低保有期間

- ・ 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ・ 装置の補修用性能部品の最低保有期間は販売終了後 10 年です。

● 移設等で機器を一時保管される場合は屋内（湿気の少ないところ）に保管してください。

- ・ お客様ご自身では移設を行わないでください。

● 蓄電池の廃棄

- ・ 蓄電池の廃棄方法については、お買い上げの販売会社にお問い合わせください。

仕様

■ 本体仕様

NO	項目	仕様
1	本体外形寸法	W1110 × D295 × H985 (mm) 突起部、脚部除く
2	本体質量	200kg
3	色	塗装色 メタリックグレー (半艶)
4	保護等級	IP45 相当
5	冷却方式	強制空冷
6	騒音	40dB-A 以下 (正面 1m)
7	表示	なし

■ 蓄電池仕様

NO	項目	仕様
1	電池種類	リチウムイオン蓄電池
2	定格容量	7.2kWh * ¹
3	定格電圧	DC180V
4	充放電サイクル数	6,000 サイクル 劣化度 80% 以上

※ 1 実際の使用できる容量の目安は、初期状態で約 5.4kWh (定格容量 7.2kWh × 放電深度 80% × パワーコンディショナ効率 94%) です。運転状態によっては、5.4kWh を下回る場合もあります。

■ パワーコンディショナ仕様

NO	項目	仕様
1	太陽電池入力	
	定格電圧	DC250V
	運転可能電圧	DC50 ~ 370V (起動電圧 70V 以上)
	最大電流	DC10A/ 回路
	最大電力	1.8kW/ 回路
	回路数	4 回路
2	蓄電池入出力	
	定格電圧	DC180V
	運転可能電圧	DC144 ~ 197.8V
3	交流出力	
	定格出力電力	5.9kW (連系) ^{※1} 3.0kVA (自立)
	定格電圧	202V 単相 2 線式 / 3 線接続 (連系) 202V 単相 3 線式 (自立)
	周波数	50/60Hz (連系時周波数に自動設定) ※出荷時は 60Hz
4	電力変換効率	94.5% (太陽光発電 5.9kW 出力時、JIS C 8961 に準じる) 94.0% (蓄電池放電 3.0kW 出力時、JIS C 8961 に準じる) 96.0% (DC リンク充電時 ^{※2} 、JIS C 8961 に準じる)
5	絶縁方式	トランスレス
6	待機時消費電力	25W
7	連系保護機能	交流不足電圧、交流過電圧、周波数上昇、周波数低下、 単独運転検出 ^{※3} (受動的方式、能動的方式)、電圧上昇抑制、 遠隔出力制御、逆潮流防止 ^{※4}

※ 1 蓄電池単体での最大出力電圧は 3.0kW。

※ 2 太陽光により発電した電力を蓄電池へ直接、直流で充電する場合。

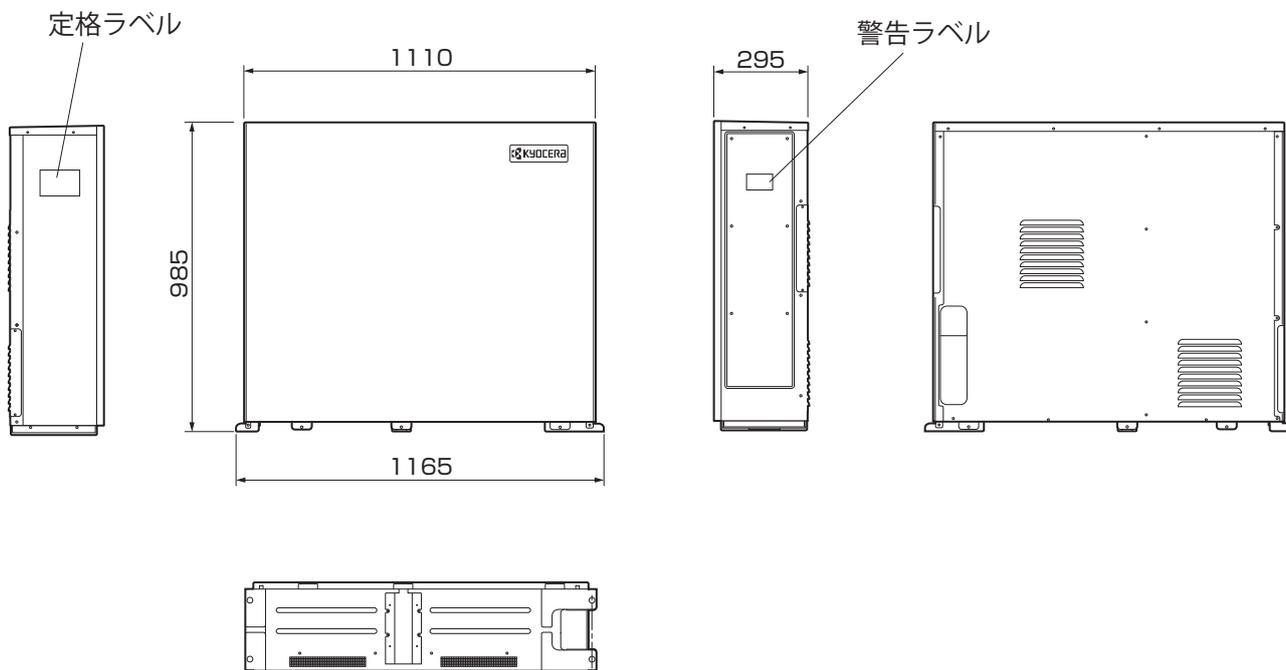
※ 3 単独運転検出は多数台連系対応型。

※ 4 蓄電池からの放電時において逆潮流を防止するため、約 100W の順潮流 (買電) 制御を行います。

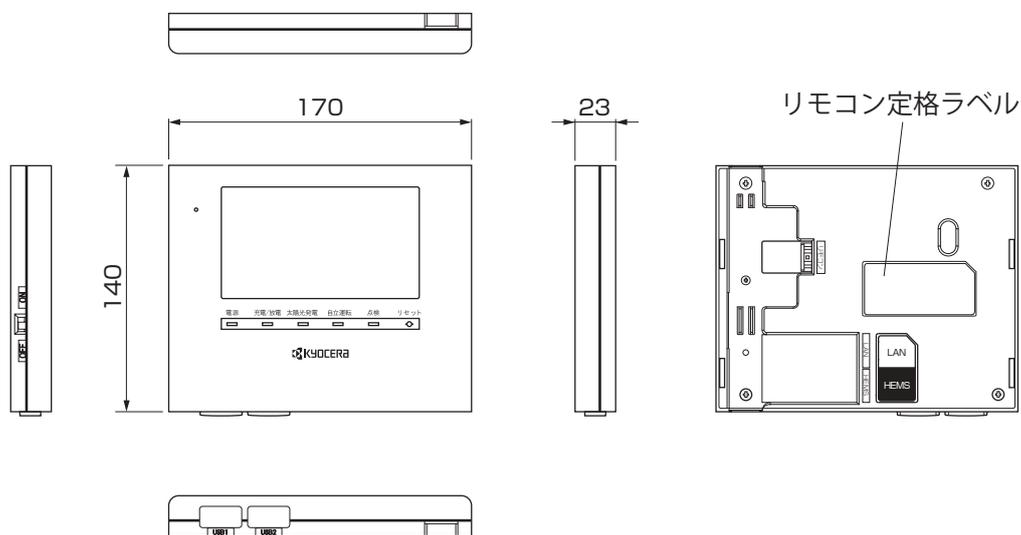
外形寸法

単位：mm

本体



リモコン



ソフトウェアライセンスについて

Ubiquitous ECHONET Lite ライセンス

本製品は、株式会社ユビキタスが権利を保有するソフトウェアプログラム Ubiquitous ECHONET Lite を使用しております。

Ubiquitous ECHONET Lite
Copyright© Ubiquitous Corp. All rights reserved.

GPL/LGPL のライセンス

本製品は、一部に GPL/LGPL の適用オープンソースを使用しており、これらのオープンソースに限っては、GPL/LGPL の定めに従い、入手、改変、再配布の権利がお客様にあることをお知らせします。オープンソースとしての性格上、著作権による保証はなされておきませんが、本製品については保証書記載の条件により、弊社による保証がなされています。GPL/LGPL のライセンスについては、<http://www.nichicon.co.jp/products/ess/support/> をご覧ください。

IPA フォントライセンス

本製品には IPA フォントが入っております。IPA フォントライセンスについては、下記 URL を参照してください。
http://ipafont.ipa.go.jp/ipa_font_license_v1.html

愛情点検	長年ご使用の住宅用ソーラー&蓄電システムの点検を!	
	<p>このような症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 発電量が少なくなったとき ● 漏電ブレーカが自動的に「切」になるとき ● 正しい使用方法にしたがって使用していても不明な点があるとき 	<p>このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のため必ず、販売会社に点検をご相談ください。</p>

株式会社 京セラソーラーコーポレーション	
修理・アフターメンテナンスのご用命は、「弊社専用ダイヤル」へ	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-right: 10px;"> 0120-71-9006 (無料) </div> <div style="font-size: small;"> フリーコール </div> <div style="margin-left: 20px;"> 24 時間受付 土曜・日曜・祝日も受け付けております。 </div> </div>



京セラ株式会社

ソーラーエネルギー事業本部

株式会社 京セラソーラーコーポレーション

京都市伏見区竹田鳥羽殿町 6 京セラ本社ビル 〒612-8450